

青雲の志

岩手県立花北青雲高等学校
校長通信 第53号
令和5年1月27日発行
文責 校長 佐々木 伸良

1/24(火)同窓会主催 青雲講演会
演題 「後輩に伝えたいこと」
講師 佐藤 智栄氏(平成4年度卒)
株式会社サトウ精機 代表取締役

1月24日(火)、3年生を対象に同窓会主催の青雲講演会を実施しました。今年は、本校平成4年度卒業、株式会社サトウ精機 代表取締役 佐藤智栄氏にご講演をしていただきました。

高校卒業から現在まで、さまざまな職業を通して多くの経験をするのができ、その経験が現在の自分に大きな影響を与えている。特に、若いころの失敗は、自分を成長させてくれたと感じているそうです。自分が変わらなければ、相手は自分を選んでくれない。相手に求められる自分になれるよう努力することが大切だと語っておられました。

また、夢を持つことの大切さや自分の夢に期限を設定し、その期限までに目標をクリアできるように段階を踏んでいくことが、夢の実現に近づいていくと言っていました。

先輩からのメッセージには、多くのカギとなる言葉があり、3年生にとって、貴重な内容となりました。



自分が変わらなければ、選ばれないという言葉が、インパクトのある言葉だった。そのためには、必要とされるコミュニケーション能力を身につけ、常に目標を掲げて努力していきたい。

佐藤さんの会社は、小さな会社だけれども、大企業に負けない技術力を持ち、大企業や世界の企業と対等に競い合っていることを聞いて、大企業だけがすべてではないと感じた。小さな努力の積み重ねが、成長につながることを意識していきたい。

佐藤さんは、若者と大人の立場での体験談を話してくれました。世代の差で、仕事がつらくなる時もあると思いますが、言葉の分解能力を身につけて、佐藤さんのように仕事が楽しいと思えるような人間になりたい。

佐藤さんは、これまでいろいろな経験を積むことで、自分のキャリアを高めてきたことが素晴らしいと思いました。私も佐藤さんのように花北青雲高校を卒業し、社会から高く評価されるようになりたい。

昔は、がむしゃらに仕事をすればお金を稼げたのに、今はそのやり方では通用しない。社会の変化に対応できるように、自分を変えていかなければ、自分の魅力を高めることはできない。変わることができれば、自分のやりたいことが見つかって、人生も楽しいものになると感じた。



全国高等学校選抜バドミントン大会東北地区予選会

男子学校対抗 ベスト8

男子ダブルス 平賀翔太・小山田泰地組 ベスト8

女子学校対抗 ベスト16

女子ダブルス 森柑奈・佐藤鈴緒組 3位

村松愛花・黒田紗希組 ベスト8

女子シングルス 佐藤鈴緒 ベスト8

3月には、全国高等学校選抜バドミントン大会が花巻で開催されます。上位進出を期待しております。